

# 禁帯出の閉架資料をパソコン画面で！

<https://www.fukkoku.net/ryukei>

**KinoDenで読める**

**龍溪書舎**

**電子書籍版**



**電子復刻**  
fukkoku.net

良書を絶版がない世界へ

**2021年10月,11月発売予定コンテンツ**

## 近代日本のアジア教育認識・資料編

【セット特価】同時アクセス数1: ¥400,000円 (本体)

—明治後期教育雑誌所収・中国・韓国・台湾関係記事—

**第1期 韓国の部 全8巻・付巻**

同時アクセス数1: ¥100,000 (本体)

**第2期 中国の部 全21巻・附巻**

同時アクセス数1: ¥240,000 (本体)

**第3期 台湾の部 全14巻・附巻**

同時アクセス数1: ¥160,000 (本体)

「韓国の部」各巻の内容構成

通巻	所収雑誌名
第1巻	『教育時論』「教育公報」
第2巻	『教育時論』「教育公報」
第3巻	『教育時論』「教育公報」
第4巻	『教育時論』「教育公報」
第5巻	『教育時論』「教育公報」
第6巻	『教育時論』「教育公報」
第7巻	『教育時論』「教育公報」

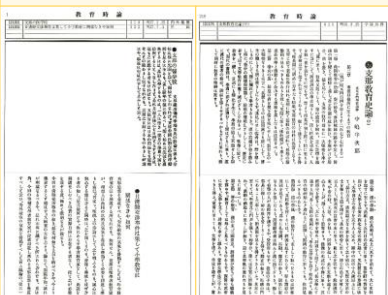


近代アジア教育史研究会(代表 阿部洋)編  
日清戦争以後日本の教育はアジア諸国、ことに中国や韓国への関心を深め、これら近隣諸国への教育・文化面からの働きかけを積極化していく。こうしたなか、各種教育雑誌やアジア関係団体機関誌、さらには一般雑誌にも、中国や韓国、台湾の教育文化に関する論説や記事が盛んに掲載されるようになる。そこには各国の具体的な教育文化状況を示す貴重な資料が数多く含まれている。我々は、これらの記事や論説をとおして、明治日本のアジア教育に対する蔑視=停滞史観や、それと対応する形でアジア教育の停滞打開の方途は「先進」日本の指導の下での革新以外にないとする優越意識、さらにはアジア諸国の教育に対する日本の積極関与や教育主権奪奪の構想が、漸次形成されていく経緯を窺うこともできるようである。

本資料篇編纂の目的は、こうした問題関心から、明治期日本のアジア教育認識に関する基礎的資料を可能な限り広範に収集するとともに、これを系統的に整理するところにある。そのため、既刊の姉妹篇『近代日本のアジア教育認識・目録編』(1955年)に収録された約6,000点に及ぶ資料の中から主要なものを精選し、その後新たに発掘した資料類を付け加えて、それらを〈中国の部〉〈韓国の部〉〈台湾の部〉の3つに分類・整理した。各部に「近代日本のアジア教育認識・目録篇」を付録。総頁数：中国7800頁、韓国3400頁、台湾5300頁

「中国の部」各巻の内容構成

通巻	所収雑誌名
第9巻	『教育時論』(1)
第10巻	『教育時論』(2)
第11巻	『教育時論』(3)
第12巻	『教育時論』(4)
第13巻	『教育時論』(5)
第14巻	『教育時論』(6)



■一次資料ですので、以下をご確認ください■

- ・OCR認識率が低く本文検索は行えません。
- ・目次、ノンブルも当時のままです。
- ・一部の原本に破れや切れ、判読できない文字の薄れやぼやけの箇所があります。
- ・見開き頁の中央部分が若干短くなり、文字や図版が見切れる箇所があります。

「台湾の部」各巻の内容構成

通巻	所収雑誌名
第30巻	『教育時論』(1)
第31巻	『教育時論』(2)
第32巻	『教育時論』(3)
第33巻	『教育時論』(4)
第34巻	『教育時論』(5)
第35巻	『教育時論』(6)
第36巻	『教育時論』(7)
第37巻	『教育時論』(8)



\*上記はカタログ作成時の情報です。配信予定は予告なく変更となる場合がございます。ご注文は弊社担当営業にお申し付けください。

**紀伊國屋書店**

紀伊國屋書店 デジタル情報営業部  
TEL:03-6910-0518 FAX:03-6420-1359  
ict\_ebook@kinokuniya.co.jp



# 教育問題研究 全58巻・附巻

【特価】 同時アクセス数1: 300,000円 (本体)

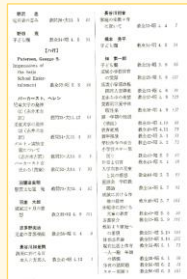
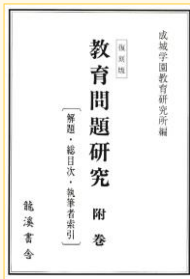
- 第1回配本 1~14巻 アクセス数1: 75,000円 (本体)
- 第2回配本 15~28巻 アクセス数1: 75,000円 (本体)
- 第3回配本 29~43巻 アクセス数1: 80,000円 (本体)
- 第4回配本 44~58巻 + 附巻 アクセス数1: 85,000円 (本体)

成城学園教育研究所 編/解題 北村和夫

【検索可能な目次付き】

大正デモクラシーという土壌の中から起こった多くの新教育運動は、それまでの学校教育の枠にとらわれず、より自由な立場から教育の本質を求め、その本来のありかたを情熱的に探究しようとした。

大正6年に柳澤政太郎によって創設された成城学園はその新しい教育の実験学校であった。「個性尊重の教育」、「自然に親しむ教育」、「心情の教育」、「科学的研究を基とする教育」、を基本理念とし、その実践結果は、大正9年に成城学園から創刊された月刊誌「教育問題研究」に逐次発表され、当時の教育界に多大な影響を与えた。本誌は大正から昭和初期の全国教育界をリードした新教育理論と実践の貴重な記録である。



## 教育問題研究 全58巻・附巻 目次

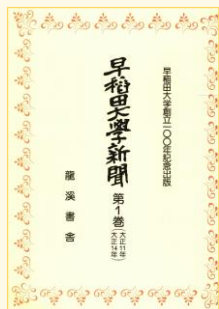
教育問題研究 第1号 大正9年4月1日  
目次  
創刊の辞  
小学教育の改造……沢柳政太郎  
聴方教授の誕生……奥野庄太郎  
算術教授の革新序論……佐藤武  
学校教育に於ける児童生活の解放……長田新  
国語教授上の重要問題(1)(2)……古閑停  
教育改造論(1)——改造原論……鯉坂国芳  
成城に於ける予の理科教授(1)……諸見里朝賢  
教育理想改造の態度……小西重直  
雑纂  
成城から……鯉坂国芳  
児童の作曲の実際(尋三桃組)……真篠俊雄  
新潟に於ける教育改造研究会(佐藤、諸見里、田中三氏の指導振)上……新潟尋高小 山崎生  
読者へ 編輯室……奥野庄太郎  
ベルギーに於る新しい学校……鯉坂国芳

曲譜 ポプラ……作詞 林柳波/作曲 岡本敏明  
論説  
教育環境の問題(1)……落合盛吉  
自由主義教育の再考察……宮内実  
成城の教育について(1)……相良徳三  
イートン教育の研究……室岡近衛  
宗教的教育に就いて(1)……相吉沢蔵  
研究  
数学学習材選択の基準……八島正雄  
速算練習とサイコロ……朱雀野有造  
新読本挿画の研究(2)……山川胤美  
第一学期を了へんとして……山口憲明  
母としての気持から……田中寿子  
信仰偶感……内田庄次  
教育環境の問題(2)……落合盛吉  
成城教育について(2)……相良徳三  
ファッションとリベラリズム……朱雀野有造  
自学による理科教育の実際(2)……松原惟一

# 早稲田大学新聞 戦前/戦後版 全10巻

同時アクセス数1: 100,000円 (本体)

- 戦前編 全7巻 (大正11年~昭和19年) アクセス数1: 75,000円 (本体)
- 戦後編 全3巻 (昭和21年~昭和33年3月) アクセス数1: 34,000円 (本体)



早稲田大学創立100周年記念出版 総3,790頁

『早稲田大学新聞』は、大正11年11月早稲田大学新聞会によって創刊され、延々今日まで発刊されている、早稲田大学唯一の機関紙である。その創刊号には、芥川龍之介をはじめ、長谷川如是閑、美土路昌一などが執筆陣として顔をそろえている。また、のちのライターには、大正・昭和期を担った多くの政治家、学者、文芸者、社会運動家とその紙面を埋め尽くしており、格調の高さは当時の一般紙と比較しても劣らぬものがある。常に社会と歴史に批判の眼を向けてきた大学の建学以来の精神を受け継いでいるのが、この『早稲田大学新聞』である。執筆者索引(32頁)付き。

高精細600dpi版面⇒ <https://bit.ly/2WpoSbk>



一次資料ですので、以下をご確認ください。目次、ノンブルも当時のままです。  
 ・OCR認識率が低く本文検索は行えません。・一部、見開き横長頁が含まれます。  
 ・一部の原本に破れや切れ、判読できない文字の薄れやぼやけの箇所があります。  
 ・新聞中央部の折の問題で、文字や図版が見切れる箇所があります。



# 明治期社会学関係資料 全10巻

同時アクセス数1: 100,000円 (本体)

## ●収録資料

社会雑誌〔社会学会〕明治30年4月～31年8月  
 社会〔社会学研究会〕明治32年1月～34年12月  
 社会学雑誌 明治35年2月～36年4月



編集・解題 川合隆男

【検索可能な目次付き】 総頁数 5400頁

本企画では『社会雑誌』、『社会』、『社会学雑誌』の3雑誌を一連のものとしてとらえ、一括収録した。これらは、日清・日露戦争の戦間期において約6年余にわたって続けられた「社会学会」「社会学研究会」による社会学、社会問題、社会運動をめぐる近代日本の学問運動の貴重な足跡である。

帝国主義、国家主義の轍に迷い踏み入らんとする前夜の状況にある戦間期の激動の渦のなかで、まさに悪戦苦闘しながら足早に刻み込まれたこの足跡は、これまでは顧みられることが少なかった。この3誌は、明治20年代から30年代にかけての近代日本での新しい社会問題の出現を眼前にして、幅広い問題関心と思想傾向や系譜を内包させつつ刊行された。学問運動の草創期だけにその組織的基盤は弱かったとはいえ、さまざまな多少とも異質の学問傾向や思想傾向を共有する可能性や活力を内包していた。学問活動がますます国際的な広がりを見せつつある今日であるが故に、近代日本のこうした草創期の足跡を再掘し再考察していくことが同時に重要であると言える。

## 明治期社会学関係資料 全10巻 目次

社会雑誌 第1巻 第1号 明治30年4月15日刊  
 時論  
 足尾鉍毒問題  
 論説  
 社会生存の二方面  
 西郷南洲と勝海舟  
 社会学と社会改良との関係  
 品行の善悪に関する原因  
 雑纂  
 東京府下の公娼  
 社会主義の根本思想  
 単税主義  
 慈善教育協会一覧  
 感化院免囚保護会一覧  
 思潮  
 社会学に関する時論  
 社会主義に関する時論  
 労働問題に関する時論

社会 第5巻 第1号 明治36年1月20日発行  
 論説  
 死刑廃止論  
 酒類専売法の施行を望む  
 雑纂  
 東京帝国大学卒業生の近況  
 英国工場法の沿革  
 時事偶感  
 新年雑感  
 板垣伯と社会問題等  
 評論の評論  
 工場法案と命令事項  
 工場法と生糸業  
 内外彙報  
 大阪、横浜商業会議所と工場法案等  
 社会学研究会総会等  
 時文一覧 (自12月15日至1月15日)  
 幼年労働者の保護等

# 治官報・KANPO 全8巻

同時アクセス数1: 100,000円 (本体)



ジャワ軍政監部 発行／編集・解題 倉沢愛子

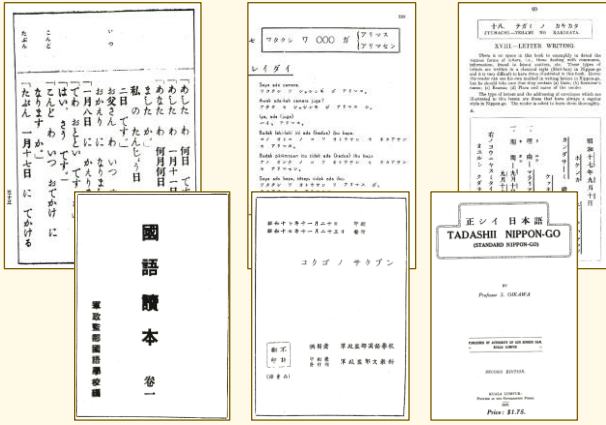
『治(オサム)官報』ならびに『KANPO』は、第二次大戦中、占領下インドネシアのジャワで日本軍政当局陸軍第16軍(治集団)が発行していた政府広報である。前者は日本人に対し、後者はインドネシア人に対して発行された。日本の南方占領に関する資料は非常に少なく、これらの官報は数少ない残存資料の一つで、当時の歴史を知る上で非常に貴重な基礎資料である。しかもこの両資料は内容的に重複しない部分があるに多い。この幻の史料が、編者をはじめアメリカ、オランダの関係者の長期に亘る努力により、このたびほぼ完全な形で収録整理することができた。これを全7巻にまとめ、『解説・総目次・索引(和・英)』を付す。



# 日本語教科書—日本の英領マラヤ・シンガポール占領期(1941-45)—

南方軍政関係史料(32) 全6巻

同時アクセス数1: 90,000円 (本体)



解題 明石陽至、宮脇弘幸

【検索可能な目次付き】

軍政下のマラヤ・シンガポールで使われた日本語教科書の研究はほとんど行われていない。収録された教科書は現地で収集したものである。当時軍政監部は大東亜の共通語としての日本語の普及と日本語教育を通して現地人の皇民化を進めた。各教科書の内容から皇国教育が如何に施行されたかが浮彫りにされ、その実態がくっきりと表われている。1943年半ば以降、「国定」教科書的なものを刊行する試みがあったが、紙不足で十分な部数が配布出来ず、軍政監部は宣伝班、各州庁の文教科、各種訓練所、養成所が独自に編纂した教科書の使用を認可した。そのために、日本語の導入方法も統一されていないのが特徴である。これらの教科書は日本が占領下のマラヤ・シンガポールで何をしたかを客観的に知る重要な手掛かりとなる。総約2,500頁。

## 日本語教科書-日本の英領マラヤ・シンガポール占領期- 目次

資料16工業日本語読本 (昭南特別市教育科)

- 一、工作機械
  - 二、鉄の話
  - 三、鋳の ふせぎ方
  - 四、石油
  - 五、電気の 利用
  - 六、原動機の 発達
  - 七、練習機を 見る
  - 八、船の 構造
  - 九、自動車
  - 十、転業だより
- 工業用語集 (2)

資料17 国語副読本 (昭南特別市教育科)

- モクロク
- (一) オ月サマ
- (二) ケンチャン
- (三) ニンギョウ ノ ビョウキ
- (四) キシャ (五) しりとり (六) ひよこ

収録資料26 日語捷徑【昭和17年8月】

- 五十音発音表 (清音/濁音/半濁音/鼻音)
- 上編——初学教材
- 用片仮名 (第2課~第24課)
- 用平仮名
- 第25課 単語 第26課 起床
- 第27課 食事 第28課 訪問
- 第29課 初対面 第30課 紹介
- 第31課 散歩 第32課 時計屋
- 第33課 尋路 第34課 貸借
- 第35課 診察 第36課 旅館
- 第37課 送迎
- 中編——簡易文法
- 第1章 仮名 第2章 拗音
- 第3章 長音 第4章 名詞
- 第5章 数詞 第6章 代名詞
- 第7章 動詞 第8章 動詞の変化
- 第9章 動詞的自他 第10章 形容詞

## KinoDen搭載 龍溪書舎コンテンツ

<https://www.kinokuniya.co.jp/03f/ebook/kinoden/img/KD0147.pdf>

<https://www.kinokuniya.co.jp/03f/ebook/kinoden/img/KD0271.pdf>

タイトル	分冊	アクセス数1 (本体価)
東京パック【セット特価】	全8巻	¥264,000
黒龍	全6巻	¥120,000
近代日本地誌叢書・東京編	全42巻	¥210,000
近代日本学術用語集成 明治篇	全7巻	¥40,000
近代日本学術用語集成 大正篇	全12巻・17冊	¥120,000
近代日本学術用語集成 大正補遺篇	全8巻・9冊	¥60,000
近代日本学術用語集成 昭和篇 [1]	全6巻・12冊	¥100,000
近代日本学術用語集成【セット特価】	計	¥300,000
近世風俗・地誌叢書〔1〕	全15巻	¥100,000
日中外交60年史	全4巻	¥50,000
島田三郎全集	全7巻	¥120,000
外事警察概況	全8巻・附図	¥95,000
政府調査「従軍慰安婦」関係資料集成	全5巻	¥100,000

■一次資料ですので、以下をご確認ください■

- ・OCR認識率が低く本文検索は行えません。
- ・目次、ノンプルも当時のままです。
- ・一部の原本に破れや切れ、判読できない、文字の薄れやぼやけの箇所があります。
- ・古地図や表などを大判で入れており、該当頁は見開きではなく1頁表示でご覧ください。
- ・見開き頁の中央部分が若干短くなり、文字や図版が見切れる箇所があります。

\* 龍溪書舎電子コンテンツのご注文は 営業担当者にタイトルをお伝えください